

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する https://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

年間IRカレンダー

第4 四半期			第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第3四半期開示		本決算	決算発表 決算説明会	株主総会	第1四半期開示	第2四半期決算		第2四半期決算発表 第2四半期決算説明会		

Ferro Tec

株式会社 フェローテックホールディングス

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <https://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

第41期 第2四半期決算報告

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード：6890



Ferro Tec

株式会社 フェローテックホールディングス

株主の皆さまへ



代表取締役社長
グループCEO
賀 賢漢

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、影響を受けられました皆さまにお見舞い申し上げます。ここに第41期中間決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社は、本年9月をもちまして創立40周年を迎えることが出来ました。

ひとえに株主の皆さまのご支援の賜物であると、心から感謝申し上げます。

当社グループが属するエレクトロニクス産業では、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、年初は半導体メーカー各社の設備投資意欲は弱含みで推移しましたが、徐々に回復の兆しが見えてまいりました。特に中国半導体市場の需要は旺盛なものとなりました。当社グループのマテリアル製品の販売も前年を上回る水準となりました。液晶パネルやICチップなどの製造設備の部品洗浄サービスは好調に推移しました。尚、同サービスを行う中国子会社は、中国科創板市場への上場準備に入ることを決定いたしました。また、シリコンウエーハ加工は、これまでの設備投資の減価償却費用が先行しておりますため、同製品を取扱う中国子会社株式の一部を、中国地方政府系ファンドおよび民間の投資基金等へ譲渡することを決定いたしました。これにより当社グループの財務体質は、今後、安定的なものとなる見込みです。

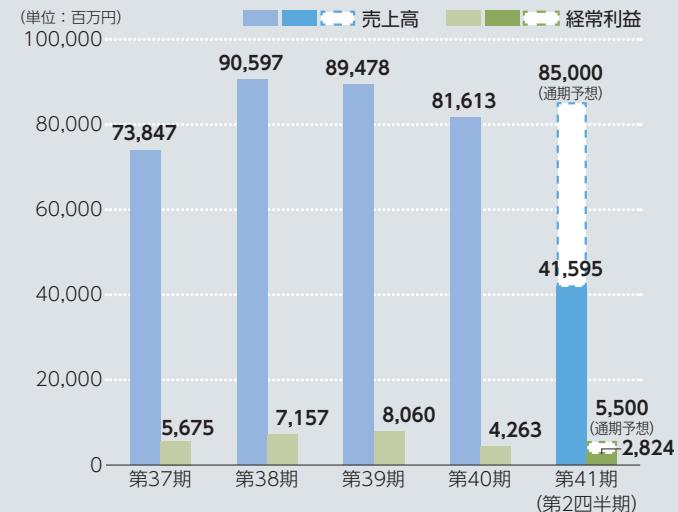
当社グループの経営の基本方針に基づき、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

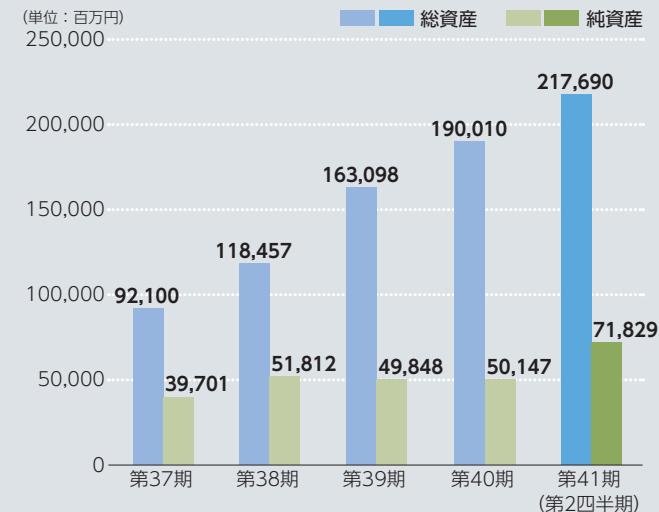
2020年12月吉日

財務ハイライト

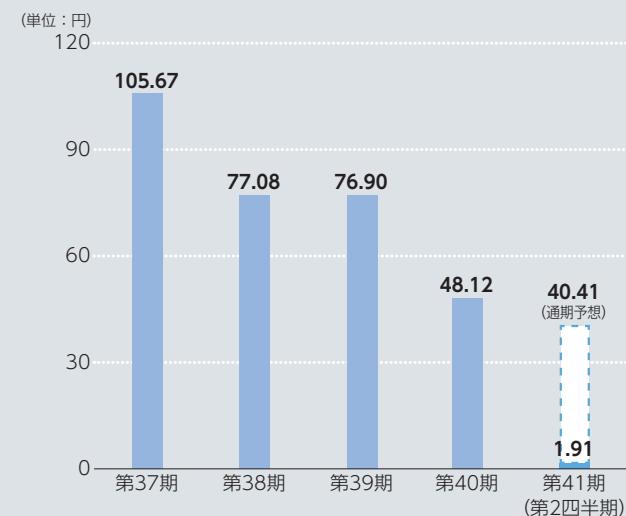
売上高／経常利益



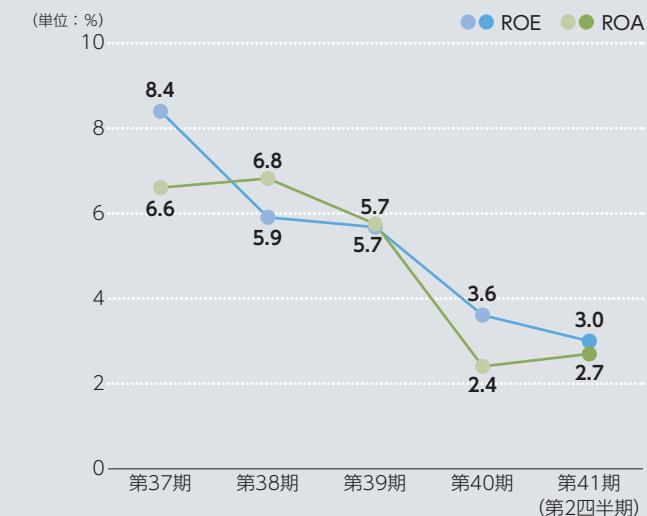
総資産／純資産



1株当たり当期(四半期)純利益



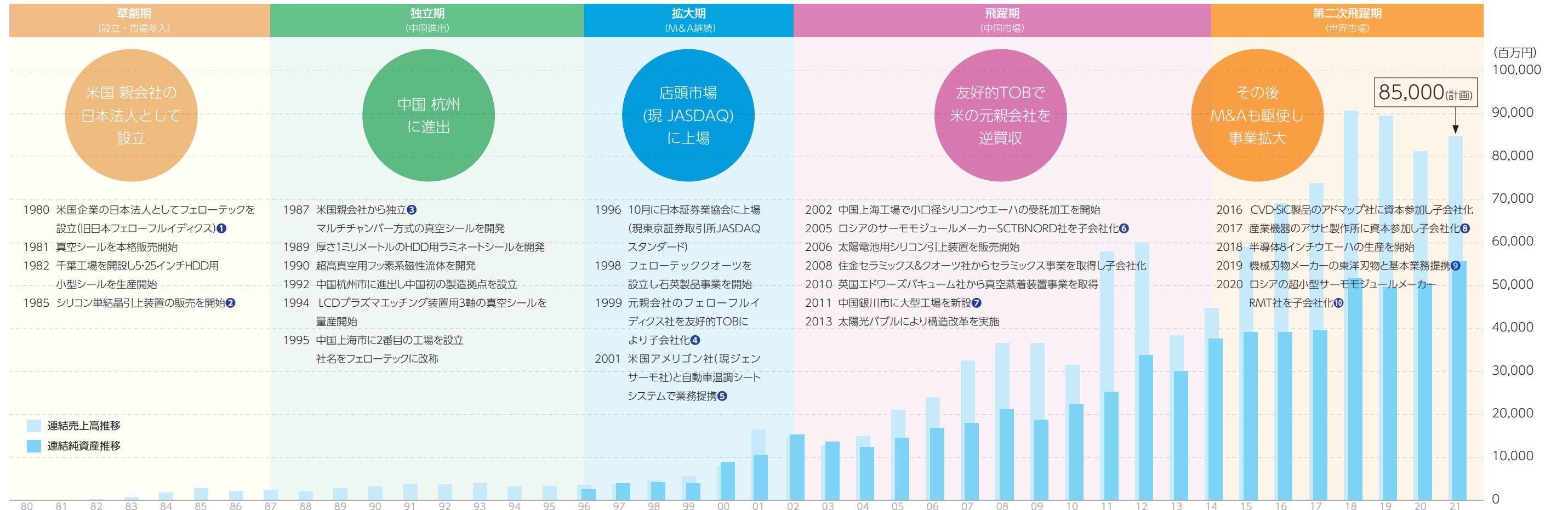
ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)



※第41期については、通期業績予想数値をベースにしています。

技術を磨き、未来につなぐ

半導体を扱うエレクトロニクス産業は技術革新が早く、常に技術を磨いていなければ生き残れません。ものづくりでも同じことが要求されます。次の世代につなげるために、日々の努力が求められます。新たな技術や事業の拡大にはM&Aも有力な選択肢ととらえています。



特集 1 新たなフェローテックマテリアルテクノロジーの誕生

2020年1月、当社の連結子会社であるフェローテックセラミックスとアドマップが合併し、フェローテックマテリアルテクノロジーが誕生いたしました。
さらに2020年7月、同じく連結子会社であるフェローテックと合併し、新たなスタートを切りました。

2020年1月

セラミックス事業を行うフェローテックセラミックスとCVD-SiC*事業を行うアドマップの合併により、両社が有する技術力、経営資源を最大限に活かし、顧客ニーズへの対応力および製品開発力の強化を図り、セラミックスおよびCVD-SiC事業の発展・成長を推進。

(株)フェローテックセラミックス

Ferro Tec
CERAMICS

事業内容
セラミックス製品製造販売

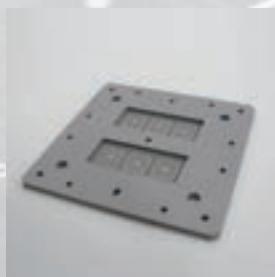
(株)アドマップ

A D M A P

事業内容
CVD-SiC製造販売



ファインセラミックス



スーパーマシナブルセラミックス



CVD-SiC

*CVD法(Chemical Vapor Deposition)を用いた炭化ケイ素(SiC)であり、特長として、超高純度・高耐食性・高耐酸化性・高耐熱性・高耐摩耗性に優れているため、半導体素子製造工程で用いられるウエーハポートやチューブ、シリコンウエーハの代替となるダミーウエーハなど、主に高温で使用される治具に使われています。

社名に込めた思い

Ferro Tec
フェローテックマテリアルテクノロジー

社名にある「マテリアルテクノロジー」には、「材料技術を基礎に新しい価値を創造する」という思いが込められています。

2020年7月

電子デバイスセグメント製品や半導体等製造装置関連製品の販売等の事業を担うフェローテックとの合併により、顧客ニーズへの対応力および新材料、新製品の開発力の強化を図っていくと共に、車載関連等半導体以外への市場開拓、管理機能の統合による効率化を積極的に進めながらグループ内シナジーの実現と業容拡大を推進。

(株)フェローテック

Ferro Tec

事業内容
磁性流体および応用製品、半導体製造装置および同部品、電子機器部品の製造販売等

Ferro Tec
フェローテックマテリアルテクノロジー

事業内容
半導体等装置関連事業製品の製造販売
(真空シール・石英製品・ファインセラミックス製品・シリコンパーツ・CVD-SiC製品・マシナブルセラミックス製品・石英るつぼ・シリコンウエーハ等)
電子デバイス事業製品の製造販売
(磁性流体・サーモモジュール・パワー半導体用基板)
車載関連事業製品の製造販売



真空シール



石英製品



シリコンパーツ



石英るつぼ



半導体用シリコンウエーハ



装置部品洗浄



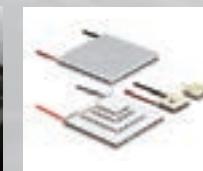
EBガン



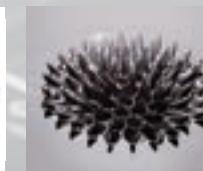
精密蒸着装置



受託加工



サーモモジュール



磁性流体



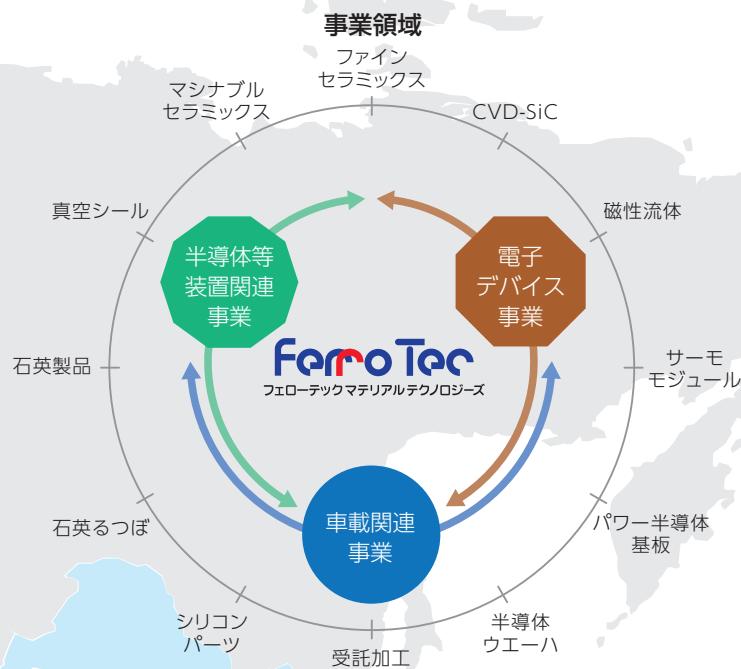
パワー半導体用DCB & AMB基板

特集1 新たなフェロテック材料テクノロジーの誕生

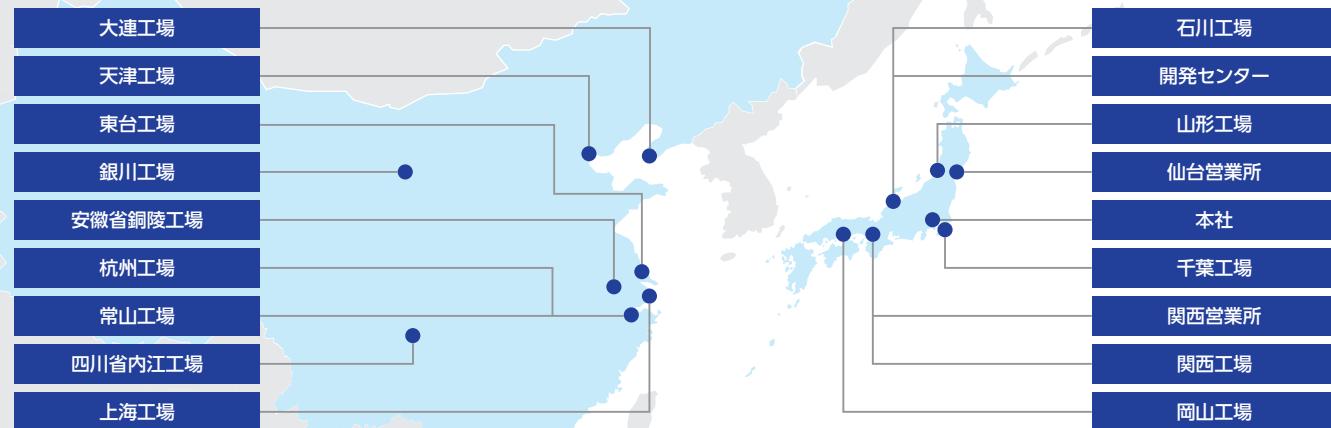
新たなフェロテック材料テクノロジーの事業領域と製造拠点

フェロテック材料テクノロジーの材料用途は、半導体・有機EL製造装置関連、電子デバイスおよび車載関連等であり、IoTに対応するAIやビッグデータの拡大および次世代通信規格やパワー半導体用基板の実用化によって広がり続けています。

このチャンスを生かすべく、日本国内および中国等の生産拠点を積極的に強化すると共に、研究開発を加速させ、新しい価値をタイムリーにご提案しています。



製造拠点



特集2 超小型サーモモジュールメーカーRMT社を子会社化

当社のサーモモジュール製品は、グローバルでトップクラスの市場シェアとブランドを確立していますが、近年の当該製品のアプリケーションの拡がりにより、製品ラインアップの強化およびそれらのニーズに対応した開発力、技術力の向上が急務となっています。

この度のRMT社の子会社化によって、RMT社の超小型サーモモジュール製品や開発力、技術力を当社のグローバル販売ネットワークおよびロシア、中国の生産拠点と融合させることで、当社の電子デバイス事業のさらなる成長ならびに企業価値の向上を目指してまいります。

■ サーモモジュール生産ネットワーク

NEW

RMT Ltd

ロシア連邦共和国
ニジニ・ノヴゴロド州

強み

- サーモモジュールの超小型化(150ミクロン以下)
- 多段化に関する技術力
- 高品質のビスマス・テルル(Bi2Te3)材料開発力
- 2千種類以上に及ぶ少量多品種に対応した生産ノウハウ

生産品目

- 超小型サーモモジュール

Ferrotec Nord Corporation (モスクワ)

生産品目

- サーモモジュール

杭州大和熱磁電子有限公司 第二工場 (杭州)

生産品目

- サーモモジュール(組立)
- シリコンパーツ
- 受託加工

上海申和熱磁電子有限公司 (上海)

生産品目

- サーモモジュール(材料)
- パワー半導体基板
- 半導体用ウエーハ
- 洗浄

浙江先導熱電科技股份有限公司 (常山)

生産品目

- サーモモジュール

半導体シリコンウエーハ再生事業への投資計画

当社は、再生サービス事業参入のため2019年9月に中国子会社と中国の安徽省銅陵市政府の投資ファンドとの共同出資で、安徽富楽徳長江半導体材料股份有限公司を設立し、2020年4月に本事業の設備投資を行うことを決定しました。

なお、中国における12インチプライムウエーハの市場動向を踏まえ、2020年8月に投資計画を一部変更しています。

設備投資の背景

- 再生ウエーハ需要が拡大基調であり、事業者数がグローバルでも限られている
- これまで培った技術が再生ウエーハ事業に転用が可能
- クロスセルによる既存事業とのシナジーに期待
- 本再生ウエーハ事業のキー・プロセスである使用済ウエーハの被膜除去工程における技術が確立見込み



設備投資の概要

設備投資の内容	再生ウエーハ工場建屋、内装（クリーンルーム含む）、附属設備、専用装置(研磨、洗浄、検査、測定各装置)
所在地	中国安徽省銅陵市金橋経済開発区内
敷地面積	約50,000㎡ ※工場延べ床面積は、約40,000㎡
生産品目・能力	生産品目：半導体シリコンウエーハ再生サービス 生産能力：月産120千枚
スケジュール	2019年10月 着工 2020年09月 竣工 2021年04月 量産開始



科创板市場(スター・マーケット)への上場に向けて

中期経営目標において、洗浄サービス事業を当社グループのストックビジネスの中核事業にすることを掲げており、将来的に洗浄サービス事業のグローバル市場におけるNo.1ベンダーになることを目指しております。このような成長戦略の下、成長をより一層加速させるために、安徽富楽徳科技发展股份有限公司を中国のハイテク企業向け市場である科创板市場(スター・マーケット)への上場準備に入ることを決定しました。

科创板について

2019年に上海証券取引所に開設された、ハイテク企業向けの新しい株式市場で「科学技術」と「創新(イノベーション)」を意味しています。既存の主板(メインボード)と違い、最終赤字でも一定の条件を満たせば上場可能で、審査手続きを簡略化したほか、上場後の値幅制限も主板より大きいことが特徴です。

上場準備中

安徽富楽徳科技发展股份有限公司

2001年に上海において、半導体・FPD向け高純度プロセスツールパーツ洗浄サービス事業に参入して以来、天津、四川、大連、安徽と5拠点6工場に拠点を拡大し、現在では中国における洗浄サービス業界を牽引する主導的なポジションを獲得しています。



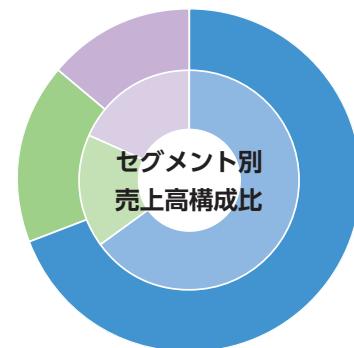
大連富楽徳科技发展有限公司 (大連)

四川富楽徳科技发展有限公司 (内江)

天津富楽徳科技发展有限公司 (天津)

上海富楽徳智能科技发展有限公司 (上海)

セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「半導体等装置関連事業」「電子デバイス事業」の2事業を報告セグメントとしております。

	第40期 第2四半期 (内周)	第41期 第2四半期 (外周)
半導体等装置関連事業	65.0%	69.2%
電子デバイス事業	16.7%	17.1%
その他	18.3%	13.7%

半導体等装置関連事業

業界動向としては、半導体デバイスメーカーや有機ELパネルメーカー各社の設備投資は、順調な回復の兆しがみられました。当社グループの半導体ウエーハプロセスに使用されるマテリアル製品(石英・セラミックス等)の販売は、リモートワーク等の拡大により、PCやサーバー用途の半導体製品の需要が回復し、デバイスメーカー各社の設備稼働率が上昇したため前年を上回る水準となりました。半導体製造装置、有機ELパネル製造装置などの部品洗浄サービスは堅調に推移しました。

売上高 **287**億円 営業利益 **21**億円



セラミックス製品



真空シール

電子デバイス事業

主力のサーモモジュールは、自動車温調シート向けが世界各国の自動車販売の減少により、軟調な展開が続きました。次世代5G用の移動通信システム機器向け、およびPCR等の医療検査装置向けは計画のとおりに移りました。一方、パワー半導体用DCB基板は、新型コロナウイルス感染症の影響でやや調整局面となりましたが一定の水準を維持しております。車載向け等の同AMB基板は、認定取得が順調に進んでおり、量産に向けた設備増設を開始しております。

売上高 **71**億円 営業利益 **18**億円



磁性流体



サーモモジュール

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結財務諸表(要約)

決算情報についての最新情報、詳細につきましては当社のIRサイトをご覧ください。
<https://www.ferrotec.co.jp/ir/>



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2020年9月30日現在	前期 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	97,791	71,451
固定資産	119,899	118,558
有形固定資産	112,214	110,816
無形固定資産	430	500
投資その他の資産	7,254	7,241
資産合計	217,690	190,010
負債の部		
流動負債	62,704	61,443
固定負債	83,156	78,418
負債合計	145,860	139,862
純資産の部		
株主資本	51,226	46,942
その他の包括利益累計額	1,142	1,452
新株予約権	96	73
非支配株主持分	19,364	1,679
純資産合計	71,829	50,147
負債純資産合計	217,690	190,010

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	41,595	41,849
売上原価	27,496	27,941
売上総利益	14,098	13,907
販売費及び一般管理費	10,185	10,341
営業利益	3,913	3,566
営業外収益	1,053	786
営業外費用	2,141	1,879
経常利益	2,824	2,472
特別利益	-	66
特別損失	1,079	12
税金等調整前四半期純利益	1,745	2,526
法人税等	1,556	1,080
四半期純利益	188	1,446
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	117	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益	70	1,539

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,529	933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,966	△19,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,874	14,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△265	△204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,171	△3,591
現金及び現金同等物の期首残高	23,709	31,555
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	-	122
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,880	28,086

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
四半期純利益	188	1,446
その他の包括利益	△358	△2,076
その他有価証券評価差額金	113	△1
為替換算調整勘定	△471	△2,066
退職給付に係る調整額	11	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△19
四半期包括利益	△169	△630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239	△522
非支配株主に係る四半期包括利益	70	△108

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報 / 会社情報 (2020年9月30日現在)

株式の状況

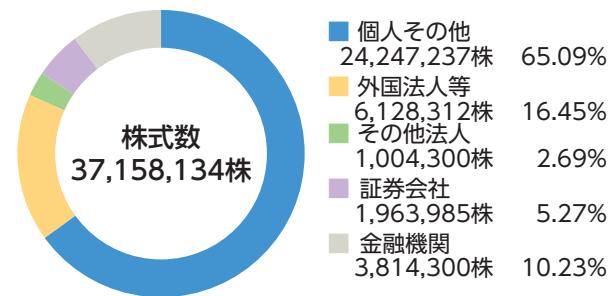
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	37,251,702株
株主数	22,895名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
志野 文哉	898,000	2.41
山村 章	843,200	2.26
岩崎 泰次	609,200	1.63
SMBC日興証券株式会社	518,200	1.39
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	480,500	1.29
野村信託銀行株式会社(投信口)	446,900	1.20
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	431,495	1.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	427,400	1.15
株式会社三菱UFJ銀行	420,000	1.13
三井住友信託銀行株式会社	400,000	1.07

(注) 1. 当社は、自己株式93,568株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 1. 自己株式93,568株は上記の円グラフ中の株式数に含まれておりません。
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	株式会社フェローテックホールディングス (英文表記) Ferrotec Holdings Corporation
設立	1980年9月27日
資本金	176億6,423万7,702円
株式公開	株式会社東京証券取引所 JASDAQ 1996年10月18日(証券コード: 6890)
決算期	3月31日
従業員数	7,775名(連結)

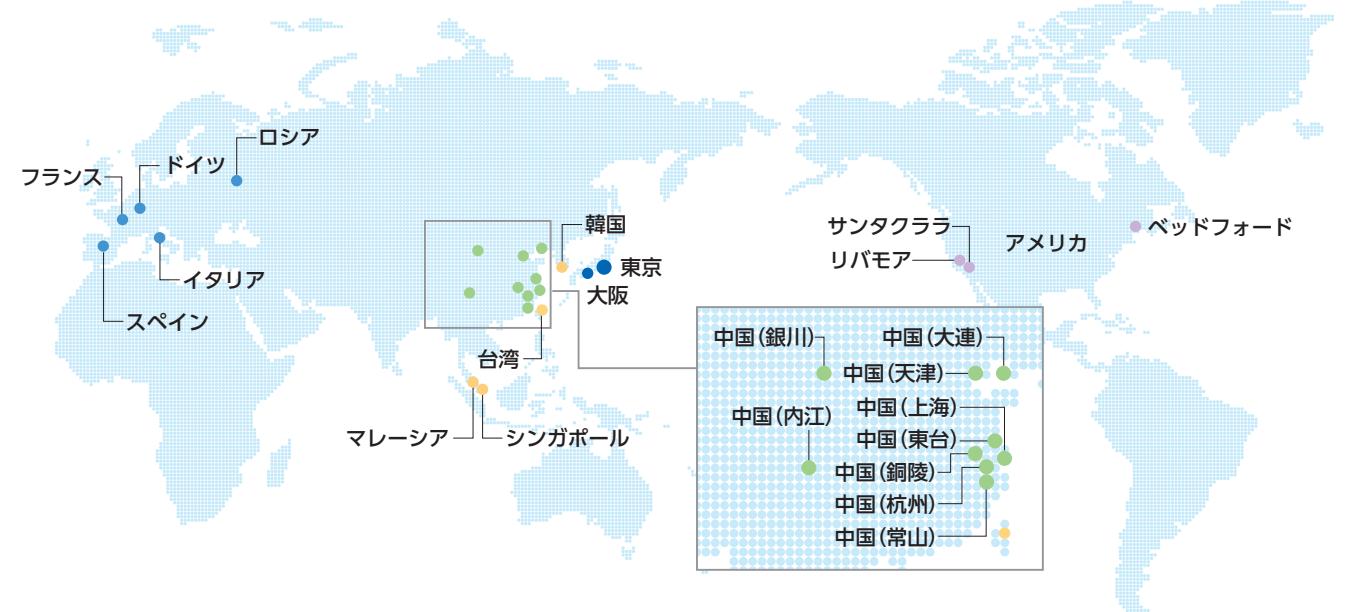
所在地

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
----	---

役員

取締役	
代表取締役会長	山村 章
代表取締役社長	賀 賢 漢
代表取締役副社長	山村 丈
取締役	若木 啓男
取締役	鈴木 孝則
取締役	宮永 英治
社外取締役	中村 久三
社外取締役	柳澤 邦昭
監査役	
常勤社外監査役	樋口 隆昌
社外監査役	藤本 豪
監査役	吉田 勝

グローバルネットワーク



欧州

- フランクフルト (ドイツ)
- シュツットガルト (ドイツ)
- モスクワ (ロシア)
- リヨン (フランス)
- ミラノ (イタリア)
- マドリッド (スペイン)

中国

- 杭州
- 上海
- 銀川
- 天津
- 内江
- 大連
- 東台
- 銅陵
- 常山

東南アジア

- シンガポール
- 新竹 (台湾)
- ウィワソ (韓国)
- タンジン (韓国)
- クアラルンプール (マレーシア)

日本

- 東京 [本社]
- 千葉
- 兵庫
- 石川
- 大阪
- 岡山
- 神奈川
- 山形
- ベッドフォード
- リバモア
- サンタクララ

販売拠点 生産拠点